

戦没者追悼式が
開催されました

11月9日(土)あいあいホールにて、先の大戦で亡くなられた方々に対し、哀悼の誠を捧げ、ご冥福をお祈りするとともに、恒久平和を祈念し、戦没者追悼式が行われ、遺族やその家族、関係者などが出席しました。

また、非核平和都市宣言啓発事業として、8月に広島市の原爆ドームや平和記念資料館を訪れた、南小学校6年生3名の児童による体験発表と川越中学校3年生・平井心唯さんの戦争と平和をテーマにした人権作文の発表が行われました。

非核平和都市宣言啓発事業に参加し、式典で発表された小学生の感想文を紹介します。



印象に残った
平和記念資料館
大矢 穂香

私は、初めて訪れた広島で、日本の悲惨な戦争の歴史を学び、戦争のおそろしさを知りました。写真では何度も目にしていましたが、生で見る原爆ドームは、想像していた以上の大きさで、丸焦げになってしまっていたことにびっくりしました。

平和記念資料館では、広島市の被爆前と被爆後の模型が展示されていました。実際に被爆した原爆ドームを見学したことで、核兵器の破壊力のおそろしさがとてもよくわかりました。

また、資料館では身近な生活で使っていたものも数多く展示してありました。中身まですべて丸焦げになったお弁当や変色した水筒を見た時は、言葉では言い表せないほどの原爆の恐怖を感じました。

また、別の展示では「被爆前の瓦」と「被爆後の瓦」の展示がありました。被爆後の瓦は茶色に白色がポツポツと付いており、どこか錆びたように見える色でした。私はその瓦を見た時、いろいろな事を想像しました。家族と楽しく暮らしていた家がなくなり、一人ぼっちになってしまった人、両親が命を落としてしまい、小さな子どもだけが生き残っ

た家族もいだろう。また、被爆したことで重い病気になった普通の生活ができなくなった人もいれば、もう命が長くないことを知らされたりした人もいたに違いはない。いろいろな事を想像すればするほどとても悲しい気持ちになりました。

広島に落とされた長さ三メートル、直径七十センチメートルの原子爆弾。こんな小さな一つの爆弾だけで、数多くの人の命が奪われたことを知り、驚きと恐怖をあらためて感じています。

今も世界のいろいろな場所で、戦争が行われています。テレビで人々が苦しんでいる姿や建物などが破壊されている様子を見ると、広島で感じた時と同じように、悲しい気持ちでいっぱいになります。世界中が一日も早く平和になってほしいと願っています。

原子爆弾のおそろしさ

高原 楓奈

私は非核平和記念事業として広島市へ原爆ドームと広島平和記念資料館を見学に行きました。

まず、最初に原爆ドームを見て、原子爆弾というたった一つの爆弾で建物がボロボロになり、たくさんの人が亡くなり、街全体が壊されることになるのは思いもみせんでした。

した。



次に、資料館に行きました。展示室に入っすぐ目に入っしたのは、原子爆弾が落とされる前ののかですてきな広島市でした。そのとなりに原爆ドームが落とされ、廃墟のようになってしまった広島市の姿があり、その変わりようを見た私はこわくてたまりませんでした。さらに進むと、写真の展示があり「大やけどをおった人たち」「さけびながら親や友人をさがす子ども」など、悲惨な姿ですとも怖く、直視することができませんでした。

被爆した人たちの中で、今も戦争のおそろしさを伝えてくれる人がいます。私たちのように体験したことのない人たちがそのおそろしさを知り、次の世代に伝えていくことが大切だと思います。

アメリカのオバマ元大統領が在任中に広島市へ訪問した際、次のようにメッセージを残されました。私たちは、戦争の苦しみを経験しました。共に平和を広め、核兵器のない世界を追求する勇気を持ちましょう」と。

世界中の人たちが広島で世界初の原子爆弾が落とされたことをもっと深く知り、実際に被爆地に来て学び、命の尊さ、戦争の悲惨さについて考えることが大切だと思います。

現在でも、戦争は世界で起こっています。世界から戦争や争い、核兵器がなくなることを私は願っています。

原爆のおそろしさ

松田 兜歩

僕はなぜ、原爆ドームと平和記念資料館へ行きたいと思ったかという、過去に「どんなことがあって」「こうなったか」などを知りたくなったので応募させてもらいました。そして、広島に行く前にどんな所か調べましたが、調べれば調べるほど緊張が高まりました。

広島に行き、平和記念資料館では被爆した人のものと思われる、服や持ち物が展示されていました。被爆された方はとても苦しい思いをし、さらに被爆した家族や友達もまた、苦しい気持ちになったと思います。僕と同じ六年生の方も多く亡くなってとても悲しく思いました。年齢を問わず罪のない方々の命が無差別に奪われても胸が苦しくなりました。そして、僕は、あらためて命の大切さを実感しました。

まず、思ったことの1つ目は、日本の非核三原則の大切さです。非核三原則の言葉の通り核兵器を「持たず」「作らず」「持ちこせず」が大切だと思います。世界中の国もこの原則を守れば安心して暮らせる人が増えると思います。

2つ目は命の重さです。差別をし、簡単に命を奪う人は命を軽く見ていると思います。どんな人でも命は平等で、ひとりひとりがだれかにとって大切な人だと思います。

この2つのことを大切に行動できれば世界はもっと平和になると思います。そして、僕にも何かできることがないかと考えました。過去に起きた戦争のことや、今僕たちは平和に暮せていることをもっと勉強して未来の人に伝えていきたいです。

最後に今回、原爆ドームと平和記念資料館に行くことができて、本当によかったです。ありがとうございました。



会計年度任用職員募集

令和7年3月採用

職 種	採用予定人数	共通以外の受験資格	試験内容	提出書類	提出・問合せ先
フルタイム 一 般 事 務	1 名	文書作成、表計算処理など基本的なパソコン操作ができる人	面接	履歴書	税務課 Tel 3 6 6 ・ 7 1 1 4

令和7年4月採用

職 種	採用予定人数	共通以外の受験資格	試験内容	提出書類	提出・問合せ先
フルタイム	保 健 師	2 名程度	保健師免許を有する方	面接	健康推進課 Tel 3 6 5 ・ 1 3 9 9
	保育所保育士	12 名程度	保育士資格・幼稚園教諭免許を有する方 (保育士資格のみでも可)		子ども家庭課 Tel 3 6 6 ・ 7 1 3 0
	学習支援員 主に発達障害等の小学生の学習を支援する業務	2 名程度	なし	面接・小論文	学校教育課 Tel 3 6 6 ・ 7 1 2 1
パートタイム	生活支援員 主に特別支援学級在籍児童・生徒の生活を支援する業務	3 名程度	なし	面接・小論文	学校教育課 Tel 3 6 6 ・ 7 1 2 1
	保育所保育士	9 名	保育士資格を有する方	面接	子ども家庭課 Tel 3 6 6 ・ 7 1 3 0
	保育所調理員	2 名	なし		

募集期間 12月2日(月)～12月16日(月)

募集期間内に提出書類を添え、提出先まで郵送または持参してください

※郵送の場合は12月16日(月)(消印有効)

※持参の場合は、平日の午前8時30分～午後5時15分

- 資格要件
- 地方公務員法第16条に定める欠格条項に該当しない方
 - 採用後に川越町またはその近郊に居住できる方
 - 外国籍の方は、永住者または特別永住者の在留資格を有する方
- そ の 他
- 複数の職種へ重複しての応募はできません。
 - 各種資格は令和7年3月31日までの取得見込みを含みます。
 - 採用予定数は欠員状況等により変更になる場合があります。
 - 勤務条件など詳細は町ホームページでご確認ください。
 - 履歴書は町ホームページからダウンロード可、また各提出先でも配布しています。

町ホームページ



令和5年度 町の情報公開・個人情報公開件数

【公文書開示請求】 (件)					
区分	開示	部分開示	非開示	不存在	合計
件数	12	14	0	2	28

※個人情報開示請求は1件でした。

問合せ先 企画情報課 Tel 3 6 6 ・ 7 1 1 2